

社会福祉法人 春風会

令和4年度（第24期）事業計画書



令和4年度 社会福祉法人春風会 運営方針

理事長 田村 りい子

平成11年4月オープン以来、今年は24年目を迎えました。
昨年は、新型コロナウイルス デルタ株、そして感染力の強いオミクロン株が猛威を振るい、県内の高齢者施設等の集団発生が報じられております。施設内に持ち込まないよう、毎日の検温、マスク、手指消毒、手すり等のこまめな消毒、人混みへの行動を自粛し感染防止対策があたりまえの日常生活となっております。

中でも、ご家族の皆様は長期に渡り面会制限の自粛に、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

サテライト特養すいせんの里につきましては、本体施設と一体的な運営が、一年を経過したところですが、今後も引き続き継続していく方向です。

いわびつ荘につきましては、平成26年4月に東吾妻町より指定管理を受け2期目の3年を経過したところですが、本年は、指定管理の方向性を示す大事な年となります。

新型コロナウイルス感染が終息することを願い、安心してゆとりある生活が送れるよう、令和4年度 運営方針を下記の通り定めます。

令和4年度 運営方針

利用者の声と心に寄り添った介護を実践しよう

令和4年度 施設長施設運営方針

開所後24年目を迎えました。

会訓である品位、明朗、責任を規範とし基本に忠実な仕事を実践して参ります。

本年度、理事長より示された令和4年度の運営方針である「春風の如く人に接し、秋霜の如く自分をみつめる」を基本に、コロナ禍の中、予防に徹し「利用者の声と心に寄り添った介護」を実践していけるよう努めて参ります。

- ・ 感謝と思いやりの気持ちを大切に、利用者第一をモットーに質の高いサービスの提供に努めます。
- ・ 虐待防止等のさらなる適正化を図るため、委員会を定期的開催し、虐待防止及び身体拘束ゼロに向けて取り組むことに努めます。
- ・ 職員のレベル向上の為、キャリアアップ研修会参加を推進するよう努めて参ります。
- ・ 入所者検討委員会を通じてやまゆり荘、すいせんの里、いわびつ荘3施設の入所判定を公平に実施します。
- ・ ご家族、介護、看護、主治医との連携を密にとり、安らかな生活が行えるよう努めて参ります。
- ・ 献立会議にて食事の内容を更に吟味し、利用者のレベルの変動に合わせた食事内容の充実と季節感のある食事提供に努めて参ります。
- ・ 地域における公益的な取り組みを進め、関係機関と連携して地域活動に努めて参ります。
- ・ 職員が家族やプライベートの時間を大切にできるよう年次有給休暇の取得促進を呼びかけます。
- ・ 職員が安心して働けるよう、施設全体で支援に取り組みライフステージごとの両立の理解と協力を努めます。

令和4年度運営方針

事務長

- ・施設の開放ができるよう感染予防対策を徹底します
- ・専門学校等と連携し、人材確保に努めます
- ・建物の修繕計画に沿った実施と未計画建物の長寿化計画を策定します
- ・事業所内保育所の財産処分と建物の有効活用の検討（外国人向けシェアハウス）

令和4年度事業計画

総務係

1. 目 標

- ・社会福祉の制度を理解し、法人及び施設運営に的確に反映できるよう職務に取り組む。

2. 事業計画

事務

- ・総務部内の連携を密にし、事務体制と役割を強化する。
- ・運営推進会議、ホームページや施設だよりを通じて、施設への理解が深まる工夫をする
- ・現場の声を吸い上げ積極的にコミュニケーションを行い、働きやすい環境づくりにする。
- ・事務員全員が、各施設の業務が行えるよう自学自習でスキルアップをはかる。
- ・現場の声を聴き、行事等の応援体制を行いより良い環境づくりに努める。
- ・事務員同士及び上司への報告・連絡をしっかりと行い、仕事に支障が出ない様にする。

洗濯室

- ・清潔第一を考え、創意工夫を凝らして自分が納得のいく仕事をする。
- ・目標を共有し知恵を出し合い、入居者様が安心して過ごせるよう環境整備に努める。

3. 年間行事計画

4月	労働基準監督署へ 各規定類の届け・報告 はるかぜ発行	10月	はるかぜ発行 お風呂の日
5月	決算書作成 決算理事会	11月	理事・評議員会 職員ストレスチェック面談
6月	法人資産の変更登記 定例評議員会	12月	年末調整
7月	はるかぜ発行（決算報告）	1月	理事・評議員会 はるかぜ発行
8月	納涼祭 理事会 職員ストレスチェック調査	2月	補正予算作成 全体会議（交通講話）
9月	新規職員採用試験	3月	理事会・評議員会 お風呂の日

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 生活相談係

1. 目標

- ・「春風接人・秋霜自肅」を心がけ、入所者の声と心に寄り添い、皆様が「笑顔」で生活できる施設を目指す。
- ・介護内容の創意工夫、レベルの底上げを図り、情勢に添った研修内容、体制を強化し継続する。
- ・「品位・明朗・責任」の会訓のもと、施設の顔という意識を持ち、親切・丁寧な申込受付対応を行い相談援助技術の向上を図る。
- ・特別養護老人ホームの特徴を活かし、地域における公益的な取り組みへの協力のため各施設で協力をする。

2. 事業計画

- ・入所者及びご家族の要望に即した個別ケアを提供するため、十分な話し合いと説明を行い合意を得てケアプランを作成しサービス提供を行う。
- ・介護保険制度の情報収集に努め、適時入所者及びご家族へ情報提供する。
- ・「危険予知活動」を徹底し事故予防に努める。
- ・報告・連絡・相談を常に行い各部門間、各施設間の協働を図る。
- ・各委員会の年間研修計画を作成し計画的に実施・運営を行う。
- ・身体拘束ゼロをめざし、随時検討をして安全に解除の取り組みを進める。
- ・入所者検討委員会の健全な運営とグループ分けの見直しを随時行い、入退所を円滑に進める。
- ・介護記録ネットワークを活用して3施設での情報共有を図る。
- ・入所者希望の手作り昼食・手作りおやつを適宜実施する。
- ・入所者の誕生日等の記念日に希望を取り入れ、グループと協力し可能な範囲で対応する。

3. 年間行事計画

4月	事故発生防止委員会 感染症対策委員会 入所者結核健診 接遇・各種ハラスメント研修会	10月	感染症対策委員会 救急救命研修会
5月	身体拘束等適正化のための研修会 褥瘡予防委員会 入所者検討委員会 看取り研修会	11月	防災訓練（日中想定） 感染症予防研修会 身体拘束等適正化のための研修会 入所者検討委員会 看取り研修会
6月	事故発生防止委員会 感染症及び災害に係る業務継続計画 認知症研修会	12月	事故発生防止委員会 褥瘡予防委員会 認知症研修会
7月	事故発生防止研修会 感染症対策委員会 食中毒予防研修会 入所者検討委員会	1月	感染症対策委員会 入所者検討委員会 事故発生防止研修会
8月	虐待防止のための研修会 褥瘡予防委員会 看取り研修会	2月	虐待防止のための研修会 看取り研修会 感染症及び災害に係る業務継続計画
9月	事故発生防止委員会 褥瘡予防研修会 入所者検討委員会 食事会 認知症研修会 自然災害時避難計画	3月	防災訓練（夜間想定） 感染症対策委員会 褥瘡予防委員会 入所者検討委員会 認知症研修会

※業務安全確保委員会は毎月実施する。

※身体拘束廃止・虐待防止委員会は拘束対象者がいる場合は毎月実施する。

※入所の受け入れ、ご家族との連絡、関係機関との連絡調整随時。

※インフルエンザ等の予防接種は嘱託医と相談し適宜実施する。

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 のぞみグループ

1. 目標

- ・コロナ禍において、予防に徹し「利用者様の声と心に寄り添った介護」を実践する。
- ・介護のプロとしての自覚を持ち、質の向上を高め、基本に忠実な介護を行う。
- ・入所者が四季を感じ、笑顔で生活を送れるよう支援する。
- ・他部署と協力をし「報告・連絡・相談」を密にする。

2. 事業計画

- ・コロナ禍において施設内に感染症を持ち込まないよう予防に徹し、入所者が安心して生活できる場を提供する。
- ・入所者の気持ちに寄り添った介護を実践するため、細かい所にも気を配る。
- ・入所者に四季を感じて頂けるよう、行事や散歩・季節のおやつ等創意工夫し、自然と笑顔が出る生活を送れように支援する。
- ・入所者の体調の変化を早期発見し、職員間、他部署との連携を図る。

3. 年間行事計画

4月	お花見	10月	ドライブ・リンゴ狩り
5月	端午の節句	11月	紅葉狩り
6月	ドライブ	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	初詣・おとそ配り
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	桃の節句

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 めぐみグループ

1. 目標

- ・介護のプロとしての自覚を持ち適切な介護を行う。
- ・入所者に四季の変化を感じて頂ける支援を実践する。
- ・他部署との {報告・連絡・相談} を密に行う。
- ・基本を忠実に守り、安心・安全・安楽な介護をする。

2. 事業計

- ・入所者の個々の変化に気が付き適切な支援を行う。
- ・入所者に四季を感じて頂けるよう、手作りおやつ・散歩の心がけ空気を感じて頂く。
- ・入所者の体調の変化を早期に発見し職員間・看護チーム・相談室と他部署との連携を密に支援していく。
- ・コロナ禍の中感染症対応をしっかり行い、入所者が安心して笑顔で日常が送れる様に心に寄り添った支援を行う。

3. 年間行事計画

4月	お花見	10月	散策ガーデンズでおやつ会 りんご狩り
5月	端午の節句 手作りおやつ (柏餅)	11月	紅葉狩り
6月	ガーデンズ散策	12月	クリスマス会 (チキンを食べる)
7月	夏祭り(すいか割り・かき氷等) 七夕	1月	初詣・おとそ配り
8月	納涼祭	2月	節分 手作りおやつ (お焼き)
9月	敬老会 (お寿司の会食)	3月	桃の節句 手作りおやつ (桜餅)

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 看護係

1. 目標

- ・利用者が穏やかに安心して生活できるように、相手の気持ちになって看護する。
- ・他職種間との報告、連絡、相談を密に行い、統一性のある看護を提供する。
- ・医師との連携を密に行い、利用者の健康維持・回復に努める。
- ・基本を忠実に守り、安全確認を徹底する。
- ・感染症対策を徹底する。

2. 事業計画

- ・利用者の全身状態、精神状態を把握し、適切な看護と医療を行う。
- ・健康診断を実施し、体調不良の早期発見、早期治療をして安定した生活がおくれるよう努める。
- ・すいせんの里、いわびつ荘と連携をとり、受診や往診の体制を整え、円滑に医療が受けられるようにする。
- ・感染症、褥瘡の委員会や研修会を実施し、しっかり対策をする。
- ・歯科往診を円滑に行い、咀嚼・嚥下機能の維持に努める。
- ・看取りの実施に向け研修し、ニーズに合ったケアを提供する。

3. 年間行事計画

4月	感染症対策委員会	10月	感染症対策委員会 インフルエンザ予防接種
5月	褥瘡予防委員会 入所者結核健診	11月	感染症予防の研修会 インフルエンザ予防接種
6月	感染症予防の研修会 入所者結核健診（精密検査）	12月	褥瘡予防委員会 インフルエンザ予防接種
7月	入所者結核健診（精密検査） 感染症対策委員会	1月	感染症対策委員会
8月	入所者採血検査 褥瘡予防委員会	2月	看取りの研修会
9月	褥瘡予防の研修会 レジオネラ検査 職員腰痛健診	3月	感染症対策委員会 褥瘡予防委員会 レジオネラ検査 職員健康診断

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 食事係

1. 目標

- ・利用者のレベル変動に伴い、細分化された食事内容をより充実させるよう創意・工夫に努める。
- ・行事食・選択食を行い、旬の食材を使って季節感のある食事を提供する。
- ・栄養とおいしさと食べやすさに配慮した食事を提供する。
- ・高齢者施設の調理職員である自覚を持ち、体調管理・衛生管理を徹底する。
- ・他部署と情報を共有・健康状態に合わせた栄養管理を行い健康維持に努める。

2. 事業計画

- ・食中毒を含む事故防止のため搬送された食品の検品・保管・温度管理を正しく行う。
- ・安全な食事を提供するため、厨房内の状況（水質、調理器具の状態など）・職員の健康状態を含む衛生点検を毎日行い、点検簿に記録する。
- ・ノロウイルス、食品検査を時期に合わせて実施する。
- ・感染症・災害等の緊急時に備えた対策・体制を備える。
- ・一人1日あたり、1500キロカロリーの標準を目指す。

（身体活動レベルと年齢から「2020年版 日本人の食事摂取基準」を参考にした値。

75歳以上 男性：1800キロカロリー／女性：1400キロカロリー）

3. 年間行事計画

4月	献立会議・灌仏会（草団子） イースター（卵を使った洋食メニュー）	10月	献立会議・紅葉狩り ハロウィン（洋食メニュー）
5月	端午の節句（柏餅）・母の日	11月	文化の日（新米） 勤労感謝の日（赤飯・お刺身）
6月	入梅（梅を使った料理） そばの日 父の日	12月	クリスマス行事、もちつき 大晦日（年越しそば）
7月	献立会議・土用の丑（鰻） 七夕行事（七夕ちらし）	1月	おせち料理、七草粥・献立会議
8月	山の日（山の幸を使った献立）・お盆	2月	節分行事 バレンタインデー（チョコ）
9月	お月見（団子）・お彼岸（おはぎ） 敬老の日（栗ご飯）	3月	ひな祭り（桜餅）お彼岸（ぼたもち）

令和4年度事業計画

ショートステイやまゆり

1. 目標

- ・ 利用者の声と心に寄り添い、「笑顔の介護」を実施する。
- ・ 確実な危険予知活動と明確な申し送りを徹底し、事故のない介護・基本に忠実な介護を行い、安心・安全な生活をして頂く
- ・ 個々の状態把握し、介護のプロとして個別ケアを創意工夫し実践する。
- ・ 年間稼働率90%
- ・ 利用者確保のため、空き室の情報提供を行い居宅事業所との連携を図る。
- ・ 施設と在宅の中間施設として、在宅介護されているご家族を支援する。
- ・ 研修会等に積極的に参加し知識・技能の向上に努める。

2. 事業計画

- ・ 利用者の声に耳を傾け、思いを馳せ心身の状況を捉えて個別ケアに活かす。
- ・ コロナ禍において施設内に持ち込まない、職場外に持ち出さないよう、職員自身の体調管理・予防策を遵守する。
- ・ マスク着用で介護を行う上で、マスクをしていても笑顔が伝わる努力をし、利用者の笑顔も引き出せるように関わる。
- ・ 行事の立案・計画・実施し、生活の中に楽しみを感じて貰えるようにする
- ・ コロナの状況に応じて柔軟に入退所を行う。
- ・ 特養入所待機者を受け入れ、スムーズな入所ができるよう記録システムを活用し、各部門間との情報交換を行う。
- ・ 毎月1回と必要時にケアカンファレンスを行い、他職種との連携をとる。
- ・ 個々の生活を把握した上で、安心して過ごせる居住環境・安全な介護を提供する。
- ・ 送迎時事故がないよう、安全運転を心がける。

3. 年間行事計画

4月	お花見ドライブ	10月	なごみ会
5月	なごみ会	11月	紅葉狩り
6月	運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	おとそ配り
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

令和4年度事業計画

デイサービスやまゆり

1. 目標

- ・新型コロナウイルス感染症の予防に努め、利用者やご家族が安心して利用できるようにする。
- ・利用者の心身状況を把握し、それぞれの方の発する声と心に寄り添った介護を実践する。

2. 事業計画

- ・新型コロナウイルス感染症予防の為、検温、消毒、密を避ける対応に努める。
- ・利用者それぞれの能力に応じて必要な支援を行い在宅生活が継続できるように努める。
- ・利用者に利用を楽しみにして頂けるよう「笑顔の介護」と、雰囲気作りに努める。
- ・安心、安全な送迎サービスに努める。
- ・ご家族、支援事業所との連携を密にとり、介護者の状況に応じた負担軽減やサービスの質の向上に努める。

3. 年間行事計画

4月	端午の節句飾り制作 お花見会 運営推進会議	10月	デイサービス1日体験利用 お風呂の日 手作りおやつ
5月	防災訓練 手作りおやつ	11月	防災訓練 りんご使用の手作りおやつ
6月	小物入れ制作 手作りおやつ	12月	クリスマス会・制作 運営推進会議
7月	七夕制作 アイスの日	1月	鳥追い太鼓 節分制作 手作りおやつ
8月	夏祭り体験 アイスの日 運営推進会議	2月	節分 ひな祭り飾り制作 手作りおやつ
9月	敬老会のお祝い	3月	ひな祭り お風呂の日 手作りおやつ

*随時、利用者のお誕生会を計画

令和4年度事業計画

ケアハウスハーブガーデン

1. 目標

- ・報告・連絡・相談の徹底で職員間の情報共有に努める。
- ・入居者の介護度が高くなっているため、個々にあったサービスの提供ができるように関係機関との連絡・調整に努める。
- ・待機者確保に努め、迅速に入居・退居できるように努める。
- ・インフルエンザ・コロナウイルス等の感染症に対し、感染症対策委員会と連携してその発生阻止に努める。

2. 事業計画

- ・記録や確認を確実に行ない、緊急時に入居者毎の情報提供が迅速にできる様明確にしておく。
- ・コロナウイルス感染症等で今までになかった介護を行うので、介護の基本を見直し研鑽を積む。
- ・運動不足の解消と入居者同士の交流に、毎朝の「ラジオ体操」の継続やパズル等の余暇利用を勧めていく。
- ・入居者の重症化がすすんでいるので、変化を見逃さず事のないよう日々の様子を見守ると共に、サービス担当者会議を開催し必要な支援提供ができるよう努める。

3. 年間行事計画

4月	お花見(桜、水仙まつり) ドライブ	10月	りんご狩り・紅葉狩り 中之条町敬老会
5月	端午の節句(五月人形飾り)	11月	さんま焼き・焼きいも
6月	おそばの日・おすしの日	12月	クリスマス会・お餅つき
7月	七夕・サマーコンサート 天ぷらの日	1月	初詣・鳥追太鼓・繭玉作り どんどん焼き・新年会
8月	外出(中之条祇園)・納涼祭	2月	節分・お雛様飾り
9月	外出(伊勢町祇園)・慶老会、 十五夜・十三夜	3月	桃の節句
毎月	買い物日(毎週)・お茶会(隔週)・懇談会・お誕生日会・手作りお昼 手作りおやつ・映画会・健康測定・受診の付き添い		
毎日	ラジオ体操・パズルでのレクリエーション		
隔月	居室チェック		

令和4年度事業計画

小規模特別養護老人ホームすいせんの里

1. 目標

- ・「品位・明朗・責任」の会訓のもとコロナ禍の中、予防に徹し「笑顔の介護」を実践する。

＜笑顔・安心・信頼＞

- ・笑顔：個々の生活を尊重し皆様が「笑顔」で生活できる施設を目指す。
- ・安心：介護の質の向上を図り、皆様が「安心」して支援を受けられるスタッフ育成を目指す
- ・信頼：家族参加型の行事を充実させて、開かれた施設運営を行う。

2. 事業計画

- ・生活習慣を大切にした個別ケアの提供のため、入所者、ご家族と十分な話し合いと説明を行い、合意の上でサービス内容を決定する。
- ・施設内指導・Web研修を積極的に取り入れ、介護人材育成を促進する。
- ・介護ミーティング（月2回）を行い介護内容の改善とスタッフ間の情報共有に努める。
- ・感染症予防に努め運営推進会議開催（年間6回）原町地区認知症カフェや、ボランティア・実習生等の受け入れを慎重に行い、地域交流と地域貢献活動を行う。
- ・入所申し込み者1人1人に丁寧な対応で向い、各事業所と連携し円滑な入退所を進める。
- ・事故防止研修（年3回）ヒヤリハットを生かした危険予知活動を徹底し事故防止に努める。
- ・感染症や災害の発生に備え、業務継続計画をもとに研修や訓練を実施していく。

3. 年間行事計画

4月	感染症対策委員会 事故発生防止委員会	観桜祭	10月	感染症対策委員会 救命研修	りんご狩り さんま焼き 焼き芋
5月	褥瘡予防委員会 身体拘束廃止研修 看取り研修	菖蒲湯 餃子の日 山菜天ぷら	11月	感染予防研修会 身体拘束廃止研修 看取り研修	紅葉ドライブ けんちん汁
6月	事故発生防止委員会 認知症研修 感染症・災害 BCP 研修	紫陽花ドライブ コロッケの日 アイスバイキング	12月	褥瘡防止委員会 事故発生防止委員会 認知症研修	忘年会 餅つき ゆず湯
7月	感染症対策委員会 事故発生防止研修 感染症予防研修	家族懇談会 流しそうめん	1月	感染症対策委員会 事故防止研修	初詣 書初め 鳥追い 新年会
8月	虐待予防研修会 看取り研修	かき氷 ます焼きの日	2月	看取り研修会 虐待防止研修 感染症・災害 BCP 研修	節分 煮込みうどん 手作り餃子の日
9月	褥瘡予防研修 事故発生防止委員会	敬老会 すいとん	3月	感染症対策委員会 褥瘡予防委員会 認知症研修	ひな祭り カレーの日 手作り饅頭の日

※防災訓練 5月・11月

※認知症VR体験会

※入所者結核健診 6月1日

※身体拘束廃止委員会 毎月

※感染症対策委員会 随時

※家族懇談会

※運営推進会議 奇数月に開催

※業務安全確保委員会 毎月

※入所者検討委員会 随時

令和4年度事業計画

看護係

1. 目標

- ・入所者が苦痛や気持ちを表しやすいように心に寄り添った看護を提供する。
- ・明るい表情で安心して生活できるように体調管理・生活環境整備を行う。
- ・多職種との連絡・相談を行い、常に安全・快適に過ごせるように入所者中心のサービス展開を行う。
- ・状況に合わせた、情報の入手と対応で感染症対策を徹底する。

2. 事業計画

- ・入所者の全身状態、精神状態を把握し、適切な看護と医療を行う。
- ・規定された健康診断を実施し、入所者の予防看護に努めて健康状態に応じた医療を提供する。
- ・常に新しい感染情報を入手し、状況に合わせた感染症対策を行い、スタッフの教育にも努める。褥瘡研修会の開催と参加を行う。
- ・看取りケアを希望される入所者やご家族の気持ちに寄り添った、看取りケアを実施する。看取りケアの研修会の開催と参加を行う。
- ・各種ワクチン接種の計画を行い、安全・確実に実施する。
- ・やまゆり荘、いわびつ荘と連携をとって、円滑な医療体制を整える。

3. 年間行事計画

4月	糖尿病入所者の血糖検査	10月	糖尿病入所者の血糖検査 インフルエンザ予防接種
5月	職員腰痛健診	11月	職員腰痛健診 感染症予防研修会
6月	入所者結核健診 (6/2) 感染予防研修	12月	看取り研修
7月	糖尿病入所者の血糖検査	1月	糖尿病入所者の血糖検査
8月	入所者健診	2月	看取り研修会
9月	褥瘡予防研修会	3月	

令和4年度事業計画

食事係

1. 目標

- ・安心・安全を前提とし、美味しく楽しんでもらえる食事を心掛ける。
- ・行事食・イベントを施設全体で協力し、安全で円滑に行える様にする。
- ・事故、災害、感染症対策を行っていく。

2. 事業計画

- ・食材の検品、温度管理、衛生保持を正しく行う。
- ・厨房の環境チェック、職員の体調を記録していく。
- ・非常食を確認して、ローリングストックをしていく。
- ・献立会議を行い、職員同士の意識を共有していく。
- ・一人1日あたり、1500キロカロリーの標準を目指す。
(身体活動レベルと年齢から「2020年版 日本人の食事摂取基準」を参考にした値。
75歳以上 男性：1800キロカロリー／女性：1400キロカロリー)

3. 年間行事計画

4月	観桜祭	10月	さんまの日
5月	端午の節句	11月	防災訓練(非常食)
6月	入梅(梅を使った料理)	12月	クリスマス、もちつき 年越しそば
7月	七夕・土用の丑の日	1月	おせち、七草粥
8月	流しそうめん	2月	節分、バレンタインデー
9月	敬老の日、お彼岸	3月	ひな祭り、お彼岸

令和4年度事業計画

特別養護老人ホームいわびつ荘

1. 目標

- ・東吾妻町と連携して、安定した指定管理運営の実施をする。
- ・安心、安全な生活支援を行う。
- ・入所者の声と心に寄り添った介護を実践する。
- ・働きやすく、笑顔の多い職場づくりをする。

2. 事業計画

- ・感染症予防、災害時の対応が的確にできるようマニュアルの整備、研修、訓練を実施していく。
- ・職員のキャリアアップを目指し、外部研修の参加や、施設内研修の充実をしていく。
- ・入所者及び家族の要望に沿ったサービスが提供できるよう十分な話し合いを行う。
- ・各種委員会の充実を図り、利用者の処遇改善を目指す。
- ・業務の効率化と改善を図り、全職員が計画的に有給休暇が所得できるようにする。
- ・各事業所と連携をしていき、スムーズな入所ができるようにする。
- ・認知症ケア研修を定期的に開催して、認知症の理解を深め、統一した対応ができるようにする。

3. 各種委員会及び研修予定（年間）

感染症対策委員会（5回以上・研修2回） 褥瘡予防委員会（2回・研修2回）
事故発生予防委員会（4回・研修2回） 身体拘束廃止委員会（4回・2回）
虐待防止委員会（2回・研修2回） 献立会議（3回） 入所者検討委員会（6回）
認知症ケア研修（4回） 看取りに関する研修（1回） 事例検討会（随時）
防災訓練（2回） 災害時訓練（1回） 感染症発生時訓練（1回） 医療研修（2回）

4. 年間行事予定

4月	花見ドライブ	10月	秋桜祭・りんご狩り
5月	花見ドライブ	11月	紅葉ドライブ・バーベキュー
6月	新緑ドライブ・運動会	12月	クリスマス・餅つき
7月	七夕・流しそうめん	1月	初詣・どんどん焼き
8月	手作りおやつ	2月	節分・手作りおやつ
9月	敬老会	3月	ひな祭り

5. その他

定例会（月1回） 業務会議（月1回） サービス担当者会議（月2回）
誕生日の日（誕生日カードと生花贈呈） 原町婦人会慰問（随時）

令和4年度事業計画書

看護係

1. 目標

- ・入所者が穏やかな気持ちで安心して生活が送れるよう援助及び看護をしていく。
- ・多職種と連携して感染症の予防を徹底していく。
- ・基本を忠実に守り、安全確認を徹底していく。
- ・病院（医師及び看護師）と連携して、利用者の健康維持及び回復に努める。
- ・多職種で連携して統一した対応ができるよう、相談しながらすすめる

2. 事業計画

- ・入所者の全身状態、精神状態を把握し適切な看護を行い、必要な時は医療につなげる。
- ・年2回健康診断（核検診・血液検査）実施し、体調不良の早期発見、早期治療をして安定した生活が送れるよう援助をする。
- ・やまゆり荘、すいせんの里と連携して、受診や往診の体制を調整して、円滑に医療が受けられるようにする。
- ・感染症対策委員会、褥瘡予防委員会、研修会を実施し、対策や予防に努める。
- ・看取りに関する研修会を実施し、職員の看取りに関する意識を高めるように努める。

3. 年間行事予定

4月	職員腰痛健診 感染症対策委員会	10月	褥瘡予防委員会 褥瘡予防研修会 職員腰痛健診
5月	感染症対策委員会 褥瘡予防委員会	11月	インフルエンザ予防接種 感染症対策委員会 感染症対策研修会
6月	入所者結核検診 褥瘡予防研修会	12月	インフルエンザ予防接種
7月	入所者健康診断（血液検査） 感染症対策研修会	1月	感染症対策委員会
8月	感染症対策委員会	2月	感染症対策委員会
9月	職員腰痛健診 職員夜勤者健診	3月	職員健康診断 看取りに関する研修会

令和4年度事業計画書

食事係

1. 目標

- ・栄養と美味しさ、食べやすさ、彩りに配慮した食事を提供する。
- ・入所者の嗜好を考慮し、食事内容を充実させるよう創意・工夫に努める。
- ・行事食、旬の食材を使って季節感のある食事を提供する。
- ・高齢者施設の調理職員である自覚を持ち、体調管理を徹底する。
- ・各部署と連携を取り、問題解決に努める。
- ・安心・安全な食事提供をするため、衛生管理を徹底する。
- ・調理職員で情報交換を行い、作業効率の一定化を図る。

2. 事業計画

- ・安心・安全な食事を提供するため、厨房内状況（水質、室内温度など）・職員の健康状態と衛生管理チェック、加熱調理後の温度測定（85℃、1分間以上）を毎日行い、点検簿に記録する。
- ・食の安全を確保するため納品された食品の温度、期限等を確認し安全な食材を使用する。
- ・感染症・災害非常時に備えたマニュアル、食料等（6日分）の備蓄、期限管理を行い緊急時に備える。
- ・一人一日あたり、1550キロカロリーの基準を満たすよう献立作成に努める。
（身体活動レベルと年齢から「2020年版 日本人の食事摂取基準」を参考にした値。）

3. 年間行事計画

4月	お花見(松花堂弁当)	10月	献立会議・秋桜祭 ハロウィン
5月	端午の節句・母の日	11月	文化の日・バーベキュー 勤労感謝の日
6月	入梅・献立会議 父の日	12月	冬至・クリスマス もちつき・大晦日
7月	土用の丑の日・七夕行事食 流しそうめん	1月	おせち料理・七草粥
8月	お盆・手作りおやつ	2月	節分・献立会議 バレンタインデー
9月	お月見・お彼岸 敬老の日・秋分の日	3月	ひな祭り・お彼岸 手作りおやつ

令和4年度事業計画

介護職研修やまゆり 介護職員初任者研修事業

1. 目的

- ・介護に携わる者が業務を遂行する上で最低限の知識・技術、それを実践する考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにする。併せて、地域福祉の基盤を厚くすることを目的とします。

2. 目標

- ・基本的な知識と技術を提供し、修了者が地域福祉の基盤となれるように支援する。
- ・関係各所と連絡協働して、円滑な研修事業と受講生の完全履修を支援する。
- ・感染症対策を講じ、安全に研修を行える環境を提供する。

3. 事業計画

- ・介護職員初任者研修課程

1年間に1回の開催を予定する

定員 20名

期間 約3か月

頻度 講習：週2日（毎週月・木）

実習： 1日間（特別養護老人ホーム）

試験： 講習・実習終了後実施